

食器洗い乾燥機 (家庭用) 取扱説明書

品番
SJM-DWM6UVC

保証書付(裏表紙)

- UVC
除菌ライト
- 標準洗い
- ソフト洗い
- スピーディー
洗い
- 強力洗い
- 乾燥
- チャイルド
ロック
- 予約

このたびは、食器洗い乾燥機をお買上げ
いただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を
よくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
**お読みになった後は、大切に保管していただき、
取扱いが不明な場合や、不都合が生じたときに
お役立てください。**



もくじ

- まず、付属品の確認を…………… 1
- 安全上のご注意…………… 1~6
- 各部のなまえ…………… 7
- 据え付けについて…………… 8
- 食器を入れる前に…………… 9
- 正しい使いかた…………… 10~12
- 仕上がりが気になるとき…………… 13
- お手入れについて…………… 14
- 修理サービスを依頼する前に…………… 15~16
- こんな表示がでたら…………… 17
- 修理サービスについて…………… 18
- 保証書…………… 裏表紙

製品は日本国内用に設計されていますので、
国外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

上手に使って 上手に節電

J'aime 食器洗い乾燥機 保証書 持込修理

本書は、お買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合に、下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には無料修理をさせていただきます。
(イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に製品と本書をご持参・ご提示いただき、お申し付けください。
(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店、またはご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答等で本書に記載の販売店に無料修理をお受けにならない場合には、ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間中でも次の場合には原則として、有料とさせていただきます。
(イ)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、移動、輸送などによる故障および損傷。
(ハ)お買い上げ後の地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、煙害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
(ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
(ホ)一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
(ヘ)本書のご提示のない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料期間修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはご相談窓口にお問い合わせください。
※譲渡・転売・中古販売・オークション・個人売買・リサイクル店などによる販売品については、弊社の責任の範囲ではありません。
※保証期間経過後の修理や補修性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。
※修理ご依頼品のご持参及びお持ち帰りの交通費、またご送付される場合の送料及びその他の費用はお客様のご負担となります。
※保証の範囲は、修理・交換を限度とします。また、故障その他による逸失利益、その他製品使用上で生じた直接または間接の損害については、その責任範囲に含まれません。
※出張修理を依頼され、本体に原因がないと判断した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。(出張修理対象製品のみ)

ご販売店様へ：必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

品 番	SJM-DWM6UVC		
保証 期 間	対 象 部 分	期 間(お買上げ日より)	保 証 の 条 件
	本 体	1 年	持 込 修 理
お買上げ日	年	月	日
お 客 様	お名前 ご住所 電 話		様
販 売 店	販売店名 ご住所 電 話		印

※個人情報の取扱いについて
弊社は、お客様の個人情報の保護に関する法律を遵守し、お客さまの個人情報の保護に努めます。
お客様の個人情報は、弊社製品の保証・アフターサービスのために利用し、他の目的には利用いたしません。
お客様の同意なしに第三者への開示・提供を行うことはありません。
弊社は、お客様の個人情報が適切に管理されるよう、業務委託先に対して指示・監督を行うなど十分な注意を払います。

エスケイジャパン株式会社

【ご相談窓口】〒818-0063 福岡県筑紫野市桜台 2-23-2
TEL.092-921-4210 Eメール: skjsupport@qtk.co.jp
電話受付時間 午前10時~午後1時、午後2時~午後5時(土・日・祝日を除く)

まず、付属品の確認を



安全上のご注意

必ずお守りください

※ご使用になる前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この食器洗い乾燥機(家庭用)は、食器を洗うためのもので、これ以外のご使用は絶対にしないでください。この用途及び一般家庭用以外(業務用等)でのご使用で発生した故障・修理事故その他の不具合については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

表示について

※ここに表示している『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。『警告』『注意』の2つに大別してお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告

取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を表示。

注意

取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害が発生すると想定される内容を表示。

表示の例

※お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない『禁止』内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく『強制』内容です。

※お読みになった後も、お使いになるかたが、いつでも見られるところに保管願います。

修理サービスについて

よくお読みください

(1)保証書

●この説明書の裏表紙に保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で『販売店・お買上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間:お買上げ日から本体1年間

(2)修理を依頼される時

●保証期間中でも
保証書のご提示なき場合、有料修理となる場合があります。

●保証期間を過ぎているときは
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3)補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

(4)ご使用中ふだんと変わった状態になったときは
ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

●お客様御自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。 分解禁止

(5)修理サービスについてご不明な場合

修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店、またはご相談窓口にご依頼ください。

仕 様	食器洗い乾燥機			
	種 類			
外 形 寸 法	幅	約420mm	定格消費電力	725/745W
	奥行	約435mm	防水レベル	IPX1
	高さ	約435mm	1回の使用水量	約5.2ℓ
	質量	約13.7kg	コードの長さ	約1.5m
	定格電圧	100V	排水ホースの長さ	約1.5m
	定格周波数	50/60Hz	給水圧力	約15kpa

●製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

愛情点検



長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を! こんな症状がでていませんか?

- 電源を入れても、操作パネルが光らない。
- 動作しない。
- 動作するときに異常な音や振動がする。
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると動作が止まったりして不安定。

以上のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

こんな表示がでたら

■以下の表示がでているときは、説明に従って点検してください。

※改善されない場合は、電源を切ってから差込みプラグを抜いて、庫内の水を拭き取り、修理・点検のご依頼を依頼してください。

表示	症状	対応
E1	排水異常	排水ホースによじれ、つまりやつぶれなどはありませんか。
E3 E4 E6 E7 E9 Ed EF	ヒーターの不具合 水位センサーの不具合 サーミスタの不具合 サーミスタの不具合 ボタンの不具合 通信の不具合 水位センサーの不具合	お買い上げの販売店に修理・点検依頼を行って下さい。
給水	水が不足しています。	動作するのに約5.2L給水が必要です。 差込みプラグをコンセントに差し込んだ状態で給水してください。 必要水量(約5.2L)に達すると電子音が鳴ります。

⚠ 使用前の注意

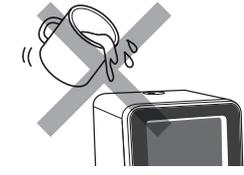
定格15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使用する。

- 他の器具と併用した場合、コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



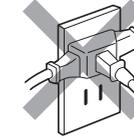
水につけたり、かけたりしない。

- 感電や故障の原因となります。



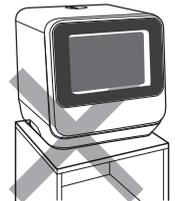
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用や他の電気器具とのたこ足配線はしないでください。

- 感電や発熱・火災の原因となります。



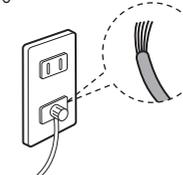
本製品の重量に耐えられる平らな場所に設置してください。

- 故障の原因となります。



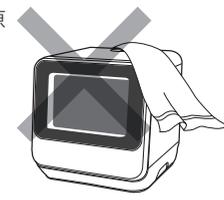
アース線をご使用場所のアース端子に必ず取り付けてください。

- 感電や発熱・火災の原因となります。



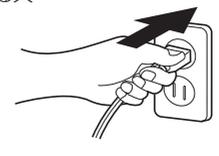
蒸気出口をふさがない。

- 高温になり発熱・発火の原因になることがあります。



差込みプラグは根元まで確実に差し込む。

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。



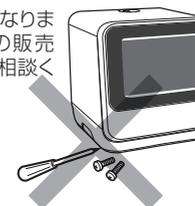
スプレー缶を本体近くに置かない。また、油や薬品のかかる場所では使用しない。

- 爆発や火災の原因となります。



分解・改造は絶対にしない。

- 火災・感電・けがの原因となります。修理は、お買い上げの販売店又はご相談窓口までご相談ください。



単独で、乳幼児やお子さま、お年寄り、体の不自由な方、病気の方などには使用させないでください。

- 感電、発火やけがのおそれがあります。



注意

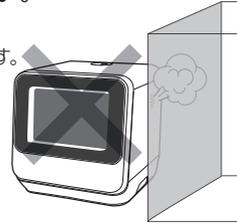
水道水以外を使用しない。井戸水や浄水機の水などは使わないでください。

- 故障の原因となります。



水蒸気出口を塞がない。

- 故障の原因となります。



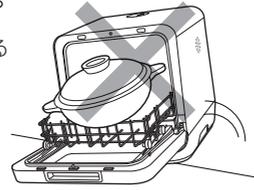
水タンクには、40℃以上のお湯を入れないでください。

- タンク内のパッキン等が劣化し、故障の原因になります。



ドアを開けるときの、ドアの上に重い物を置かないでください。

- 本体が前向きに倒れるおそれがあります。



食器洗い機専用洗剤をご使用ください。

- 通常の食器洗い用の洗剤を使用すると故障の原因になります。



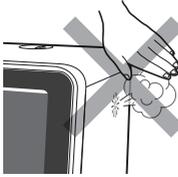
食器洗い機専用洗剤以外の洗剤を混ぜ合わせないでください。

- 爆発等のおそれがあります。



運転中、停止直後水蒸気出口付近を触らないでください。

- 水蒸気出口付近は高熱によりやけどのおそれがあります。



運転中はドアを開けないでください。

- お湯が噴出し、やけどのおそれがあります。



ドアが完全に閉まっていることを確認してください。

- ドアにつますいてケガのおそれや、故障の原因となります。



食器洗い機専用洗剤は、幼児の手の届かないところに保管してください。

- お子様が誤ってお口に入れることがあります。
- 万が一、目やお口に入った場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けてください。



こんなとき		おたしかめください
もう一度お調べください	運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●エラー表示が表示されていませんか。 ●差し込みプラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ●ドアはしっかりしまっていますか。 ●必要水量給水していますか。
	音がうるさい	<ul style="list-style-type: none"> ●食器があたっていませんか。 ●軽い食器などが跳ねていませんか。 ●設置場所が不安定ではありませんか。
	悪臭がする	<ul style="list-style-type: none"> ●タンクに水を入れたまま放置していませんか。 ●柔らかい布やスポンジで定期的な清掃をおこなってください。 ●フィルターに残さいなど付着していませんか。
	庫内が異常に泡立っている	<ul style="list-style-type: none"> ●食器洗い機専用以外の洗剤では、泡が異常に発生して、ブレードや本体の故障の原因となります。
	プラスチック食器が変形・変色する	<ul style="list-style-type: none"> ●プラスチック食器の耐熱温度のご確認をお願いします。

つぎの症状のときは、ただちに運転を停止し、差し込みプラグを抜いて、庫内の水を拭き取り、販売店へご連絡ください。

- 差し込みプラグや電源コードが異常に熱いとき
- 誤って本体を倒してしまったとき
- 差し込みプラグや電源コードの被覆が破れているとき
- 使用中に異常音がするとき
- 動作が不確実なとき
- その他、異常のあるとき

絶対に分解したり、修理・改造を行なわないでください。
分解禁止

修理サービスを依頼する前に

■異常が生じたときは、以下の点をお調べになり、それでも改善しないときは、お買上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	おたしかめください
洗いがりが悪い、洗えていないものがある。	<ul style="list-style-type: none"> ●洗剤を入れ忘れたり、食器洗い乾燥機専用以外の洗剤を入れていませんか。 ●食器を重ねて入れていませんか。 ●フィルターに残さいなどで目づまりすると洗いがりが悪くなります。
粉末洗剤が溶け残る、洗剤が付着している	<ul style="list-style-type: none"> ●洗剤が湿気ていたり、固まっていますか。砕いてから入れてください。 ●適切な量の洗剤を入れてありますか。 ●食器洗い乾燥機専用以外の洗剤を入れていませんか。
庫内に水滴が残る	<ul style="list-style-type: none"> ●食器が乾燥していても、ふたや庫内などに水滴が残ります。故障ではありません。
食器の底のくぼみに残水がある	<ul style="list-style-type: none"> ●くぼみや凹状になっているものは水が残ります。
においがする	<ul style="list-style-type: none"> ●ご購入後、しばらくはゴムやプラスチックのにおいがする場合があります。ご使用するにつれなくなります。
一時停止後の再スタート後や、動作中にあやまってドアを開け閉め後の運転開始が遅い時	<ul style="list-style-type: none"> ●動作の工程によっては、ブレードが回りだすのに20秒ほど時間がかかる場合があります。
製品があたたかくなる	<ul style="list-style-type: none"> ●排熱のためあたたかくなりますが、異常ではありません。
運転中ブレードが回っていない。	<ul style="list-style-type: none"> ●箸、スプーンや食器が食器カゴの下にはみ出ている場合、ブレードの回転の妨げになります。 ●食器の並び方によっては、水圧の変化によりブレードが遅くなったり、回転が止まる場合があります。食器の並び方を確認してください。 ●ブレードの穴に残さいやごみが詰まって、ブレードの穴を塞いでいませんか。 ●ブレードがしっかり取り付けできていますか。
ドア周辺に結露がついたりくもったりする	<ul style="list-style-type: none"> ●室温と庫内の温度差により結露したり、くもったりすることがあります。
ご使用につれ、庫内が白くもってくる	<ul style="list-style-type: none"> ●水に含まれるミネラルのためです。庫内は、クエン酸や食器洗い乾燥機専用の洗剤で空洗浄をおこなってください。 ●柔らかい布やスポンジで定期的に清掃をおこなってください。
各コース動作終了後、動作音がする。	<ul style="list-style-type: none"> ●各コース動作終了後、操作パネルの乾燥マークが点灯し、自動運転で通気機能が動きます。機能を停止する場合は、電源ボタンを一度タッチしてください。
食器が乾燥しにくい。	<ul style="list-style-type: none"> ●食器の大きさ・種類・材質によって、乾燥の効果が異なります。 ●冬場や外気温が低い時は、食器が乾きにくい場合があります。
洗浄中に、ブレードが回転したり、止まったりする動作をする。	<ul style="list-style-type: none"> ●間欠運転を行う工程の動作となっておりますので異常ではありません。

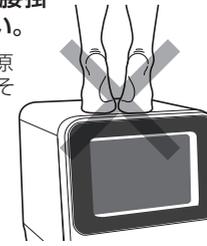
故障ではありません

本体の上に乗ったり、腰掛けたりしないでください。

●変形や破損により故障の原因や、倒れてケガをするおそれがあります。



禁止



乳幼児やお子さまの手の届くところで使用しないでください。

●ケガをするおそれがあります。



強制

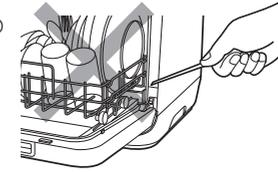


尖っているものでドアゴムシートや本体に傷つけないでください。

●水もれや感電の原因になります。



禁止



ドアの変形やドア部品の破損が見つかったときは、差し込みプラグを抜き、お買上げの販売店または、お客様ご相談窓口にご相談ください。



禁止

●そのまま運転を続けると故障や感電火災の原因になります。

⚠ 使用上の注意

必ず食器洗い機専用の洗剤を使用してください。



禁止

●ソーブ、石鹼、洗剤、ハンドソーブ等泡の出やすい洗剤を使用すると故障の原因になります。



包丁などの刃物や鋭利なものは洗わないでください。

●故障の原因となります。



警告



プラスチック食器は洗わないでください。



禁止

●食器に「食器洗い機適応」の表記があれば洗えます。表記がなければ製造メーカーにご確認ください。

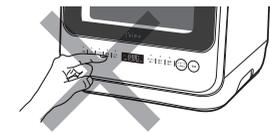


操作パネルで遊ばないでください。

●誤操作や故障の原因になります。



禁止



食器を入れ過ぎないようにしましょう。



禁止

●食器を入れすぎるとしっかり洗浄できない場合があります。

食器洗い機専用の洗剤を入れる際は、適量を入れる。



注意

●洗剤を入れすぎると食器がしっかり洗えなかったり、洗剤がつまり故障の原因となります。

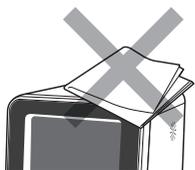
⚠ 使用上の注意

燃えやすいものを乗せないでください。

- 水蒸気出口付近の加熱により発火・火災のおそれがあります。



禁止

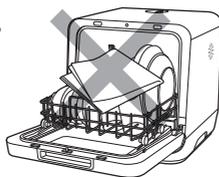


ぬれた布や新聞紙などを乾燥しないでください。

- 火災の原因になります。



禁止



運転中や停止直後は、本体は熱くなっていますのでお子様は近付けないでください。

- お子様が本体にさわりやけどのおそれがあります。



禁止

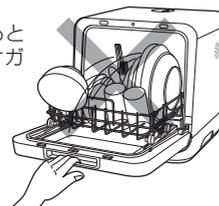


ドアの開閉はゆっくりと行ってください。

- 勢いよくドアを開けると中の食器が飛び出しケガのおそれがあります。



禁止



食器以外のものは洗わないでください。

- 故障の原因になります。



禁止



ぬれた手で、差込みプラグやコンセントにさわらない。

- やけど・感電・ケガのおそれがあります。



禁止



電源コードを束ねたり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、加熱したり、加工したりしないでください。

- 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。



禁止

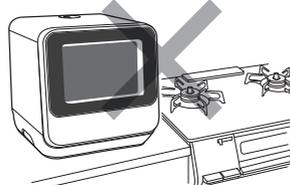


ガスコンロなどの熱源から15cm以上離す。

- 火災のおそれがあります。



警告

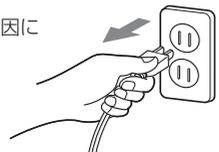


お手入れの際は、必ず差込みプラグを抜く。本体が冷めてから行う。

- やけど・感電や故障の原因になります。



プラグを抜く

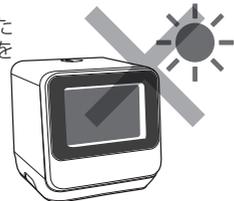


室外や業務用で使用しないでください。

- 故障や事故になった場合、当社では責任を負いかねます。



禁止



お手入れについて

⚠ 警告

安全のため、必ず差込みプラグを抜いてからお手入れをする。

- 感電するおそれがあります。

使用后すぐは庫内が熱くなっていますので、庫内が冷めてからお手入れをする。

- やけどのおそれがあります。

機器を定期的に清掃し、食品くずや付着物を完全に取除いてから使用する。

- 発火や発煙のおそれがあります。

お手入れの方法

柔らかい布でから拭き

- 柔らかい布でから拭きをしてください。汚れがひどい場合は、ぬるま湯を布に含ませ拭き取っていただくと、汚れが取れやすくなります。

柔らかい布やスポンジで水拭き

- 柔らかい布やスポンジで庫内やドアの内側を水拭きしてください。汚れがひどい場合は、ぬるま湯を布やスポンジに含ませて拭き取っていただくと、汚れが取れやすくなります。

差込みプラグの清掃

- 長い間ご使用になると、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付着し、発火のおそれがありますので差込みプラグを抜き、乾いた布で拭き取ってからご使用ください。

揮発性のものは使わない

- 揮発性のもの(シンナー・ベンジン・みがき粉・化学ぞうきんなど)を使用すると、変型や割れが発生することがあります。

お手入れ後の安全点検

- 電源コードが傷んでいませんか？
- 差込みプラグに異常な発熱はありませんか？
- 差込みプラグやコンセントにホコリが付着していませんか？
- 差込みプラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？

お手入れのポイント

下のブレードや庫内に油よごれが付着している場合

※頻繁に下のブレードを取り付け取り外しをしないでください、故障の原因となります。

※上のブレードは取り外さないでください、故障の原因となります。

- 濡れた布やスポンジで庫内やドアの内側の隅々まで、水拭きをしてください。

- 食器を入れずに空の状態、クエン酸や食器洗い機専用の洗剤を入れ、『強力洗い』で空洗浄する。

ろ過システムの清掃

- 平面フィルター、残さいフィルターガードには、食べ物のくずなどが溜り、ブレードが詰まったり、排水ができなくなったりします。定期的に清掃し、清潔を保つようにしてください。

仕上がりが気になるとき

汚れが落ちない

- 食器洗い乾燥機専用の洗剤を入れましたか。
- 汚れに応じて、適切な量の食器洗い機専用洗剤をいれましたか。
- 食器が、カゴの底からはみ出して、ブレードの回転を止めていませんか。
- 食器を重ねて入れたり、入れる向きを間違っていないですか。
- 残さいフィルターが目づまりしていませんか。
- 焦げ付きは、こすり落としてから入れるか、手洗いしてください。

ガラス食器が白くもる

- 表面に小さな傷の付いたガラス食器を高温で洗うと、まれに白くもることがあります。
- クリスタル製食器は、白くもるため入れないでください。
- ひどい油汚れは、油が残ることがあります。専用洗剤を多めに入れて運転してください。

ガラスコップに白いあとが残る

- 水に含まれているミネラル分のためです。ときどきクエン酸を付けて、手洗いしてください。

食器の底のくぼみに水滴が残る

- くぼみのところには、水が残ります。少し傾けてセットしてください。水の残りが少なくなります。

プラスチック食器の乾きが悪い

- プラスチック製品は水をはじいて大きな水滴になるため、乾きにくくなります。水滴が残りにくいよう、傾けてセットしてください。

スピーディー洗いの乾きが悪い

- 他のコースと比べて乾燥時間が短く設定されています。

黄ばむ・黒ずむ

- 水に含まれている鉄分や茶しぶなどのためです。ときどき食器を手洗いしてください。

粉末洗剤が残る

- 洗剤が固まっていますか。砕いて入れてください。

プラスチック食器が変形する

- プラスチックは熱の影響で変形するおそれがあります。耐熱温度90℃未満のプラスチック食器は、洗わないでください。
※ソフト洗いは、耐熱温度60℃以下のプラスチック食器に適しています。

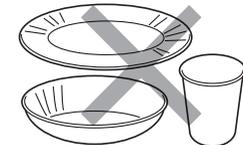
運転中にドアを開ける場合は、必ず一時停止ボタンを押して、ゆっくりと開けてください。

- 洗淨水、湯気、庫内が高温のため、やけどのおそれがあります。



飛ばされやすい軽いものを入れない。

- 故障・破損・異音の原因となります。



食器の汚れがひどい場合は下洗いをしてください。

- 汚れが落ちない場合があります。



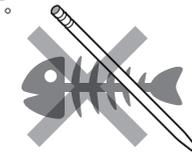
強化ガラス製のものを入れない

- 粉々になって飛び散り、ケガや故障の原因となります。



つまようじ・魚の骨などは取り除く

- 故障の原因となります。



食器に付着している細かい残さいを取り除いてください

- 食器に再付着する場合があります。



⚠ 使用後の注意

長時間ご使用にならない場合は、安全のため差込みプラグをコンセントより抜く。

- ホコリがたまって漏電や発熱・発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

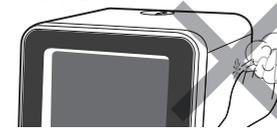
庫内のフィルターは毎日清掃し、清潔を保ちましょう。

- フィルターに食物のカスが残っていると不衛生になり、昆虫等が中に入り込み、基板ショートの原因になります。



動作終了直後は、庫内が高温になっていますので、開ける際は水蒸気等に注意してください。

- やけどのおそれがあります。

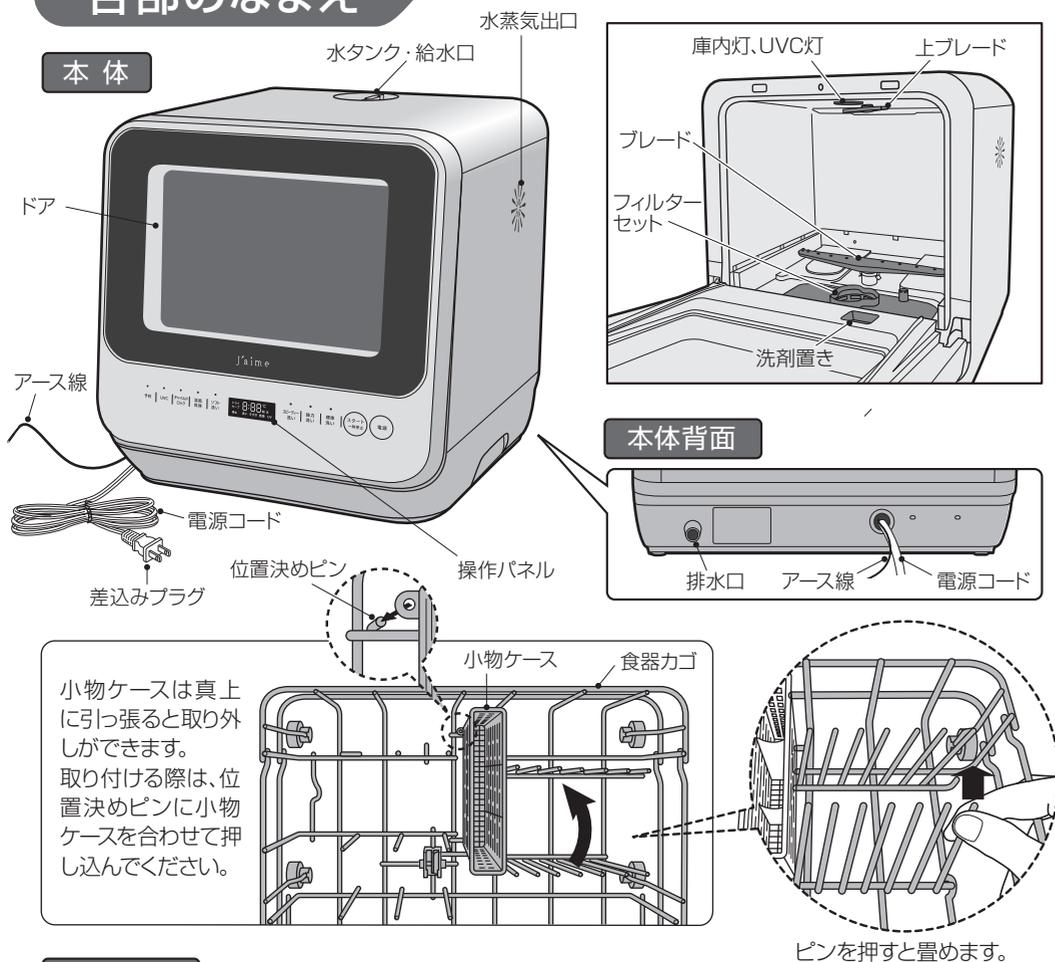


長時間ご使用にならない場合は、タンクに水を入れた状態にしないでください。

- においの原因となります。



各部のなまえ



操作パネル



機能	運転時間				食器洗い専用洗剤
	洗い	乾燥	ドライキープ	温水の最高温度	
ソフト洗い	53分	62分	60分	約40℃	○
強力洗い	78分	62分	60分	約75℃	○
標準洗い	58分	62分	60分	約75℃	○
スピーディー洗い	38分	7分	60分	約55℃	○
乾燥	—	120分	—	—	×

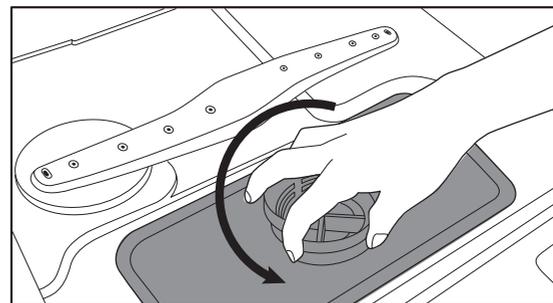
4. 動作終了後に、タンクの残り水を自動で排出します。

5. 運転が終了しましたら、庫内が十分に冷めてから食器を取出した後に、フィルターセットを外し、水洗いや柔らかいスポンジ等で清掃してください。

※食器の水滴が気になる場合は、ふきんなどでふきとってください。
 ※食器を庫内に放置していると、食器に水分が付着する場合があります。

⚠ 注意 ワイヤブラシやスチールタワシなどを使用しないでください。フィルターに傷がつき、細菌が繁殖する原因になります。

フィルターセットの取り外し・取り付け方



● フィルターセットを反時計回りに回すと、取り外しができます。
 固定するときは、時計回りに回してカチッと固定するまで回してください。

運転のしかた

- 電源ボタンを長押しして電源を入れます。
- ボタンをタッチして、コースや機能を選びます。



注意
15分以上何も操作しないと待機状態に戻ります。

コース	用途	洗剤
ソフト洗い	耐熱温度60℃以下のプラスチック製食器に適しています。食器棚に入れていて、長期間使用していない食器を使用前に洗うのに適しています。	○
強力洗い	油污れが多い食器に適しています。	○
標準洗い	食後すぐの食器洗いに適しています。	○
スピーディー洗い	つけ置き、水洗い後や軽い油污れの食器洗いに適しています。	○
温風乾燥	手洗い後の食器の乾燥や、食器のあたために適しています。途中で停止した場合などで庫内に溜まった水を排出できます。 <small>※食器の水気を十分に切ってください。 ※庫内に水分が多い場合、乾きにくい場合があります。 ※冬場や外気温が低い時は、食器が乾きにくい場合があります。 ※完全に排水はできません。</small>	×

※コースの動作の途中で間欠運転(ブレードが回ったり、止まったり)しますが、異常ではありません。

機能	用途	洗剤
予約	コーススタート前に設定ができます。ボタンを押すと、1時間~24時間予約の設定ができます。予約を取り消したいときは0に設定してください。	—
チャイルドロック	動作中にボタンを長押しするとLEDが点灯しチャイルドロックがかかります。チャイルドロック中は、ボタンが反応しません。解除するには、再びボタンを長押ししてください。	—
UVC	コーススタート前に設定ができます。各コースの動作終了前20分を過ぎると照射されます。 <small>※変色しやすい物には使用しないでください。水滴が付着していると効果が弱くなる場合があります。水気を拭き取ってからご使用ください。UVCは無色透明となっておりますが、動作がわかるように着色しております。UVCは透過しませんが着色が強いので、直接のぞき込まないでください。</small>	—

- スタート/一時停止ボタンにタッチする。

- 選択したコースで動作します。
一時停止機能：運転の途中で一時停止する場合は再度ボタンをタッチしてください。もう一度ボタンをタッチすると運転が再開されます。
※動作の工程によっては、ブレードが回りだすのに20秒ほど時間がかかる場合があります。
※動作終了後、庫内に水が残っている場合がありますが異常ではありません。



注意
運転途中の食器を取り出して使用しないでください。食器洗い機専用洗剤が残った食器を使用すると口腔、のど、目などに化学やけどあるいは窒息のおそれがあります。



注意
食器はカゴの所定の位置に置いてください。箸やスプーン、フォークなどカゴのすき間から下に飛び出すとブレードと接触し、運転ができません。

■ 使用できない材質の食器等の一例

- 木製食器 ● ガラス飾り、工芸品、骨董品等 ● プラスチック (食洗器適応商品を除く) ● 銅・すず製の食器 ● 灰、蝸、潤滑油、墨などが付着している皿 ● アルミ・鍍製の食器 (変色の可能性有り) ● ガラス製品 (水晶ガラス等) (濁る可能性有り)

据え付けについて

据え付け場所



注意 次のような場所には設置しない

- 直接日光の当たる場所
- 冬季凍結(室温が0℃以下)のおそれがある場所
- 平らでなく、しっかりとしていない場所
- 水がかかる場所

■ 壁との間をあける

- 水蒸気出口をふさがないでください。
本体上部のすき間が少ない場所で使用されると、過熱して発火するおそれがあります。

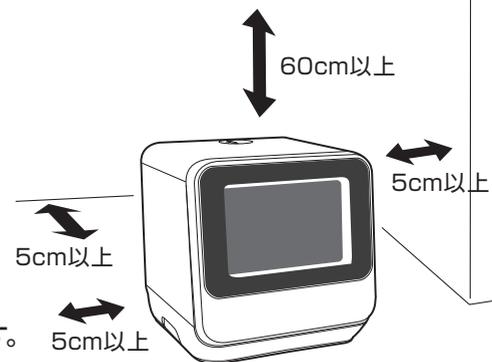
■ 風通しのよいところ

- 食器洗い乾燥機の周囲は必ず、すき間をあけてください。
風通しが悪いと故障、感電のおそれがあります。

■ アース線は必ず取り付けてください。

- 絶対に、ガス管や水道管、電話や避雷針につながらないでください。
(法令で禁止されています。)

■ ガスコンロなどの熱源から15cm以上離す。火災のおそれがあります。



アースを確実に取り付ける。
故障や漏電の時に感電することがあります。

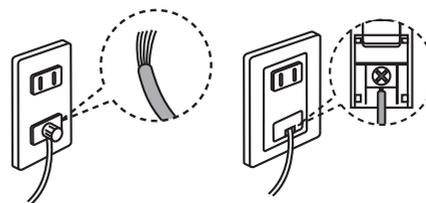
- アースの取付けはお買上げの販売店にご相談ください。



アース接続

● アース端子付きコンセントを使用する場合

アース線が本体のアース端子に、しっかり接続していることを確認し、アース線先端の皮をむき、コンセントのアース端子につなぐ。



● アース端子がない場合

お買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

● アース工事(電気工事資格者によるD種接地工事)が必要な据え付け場所

湿気が多い場所—土間、コンクリート床、地下室、醸造、貯蔵所など。
水気のある場所(漏電遮断器も設置必要)—鮮魚店、青果店の作業場で水を扱うところ、水滴の飛び散るところ、地下室など結露の起きやすいところ。

● アース線を接続できないもの

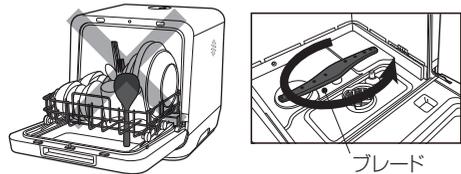
ガス管や水道管、電話器や、避雷針には絶対に接続しないでください。
法令で禁止されています。

食器を入れる前に

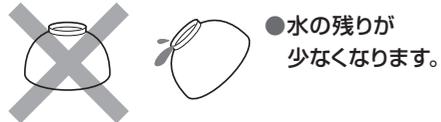
■ドアの開閉ができなくなったり、蒸気や水もれ、本体・食器などの破損・変形、洗いが悪くなったりするのを防ぐため、次のことをお守りください。

食器やカゴの入れ方

- カゴは奥まで入れる・・・(ドアが閉まりません)
- 食器がカゴからはみ出さない
・・・(ドアが開閉ができません)
- 食器がカゴの下にはみ出さない
・・・(ブレードの回転を止め、洗えません)

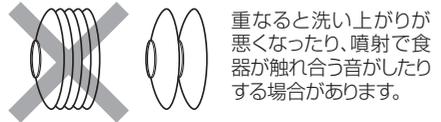


底にくぼみのある食器は少し傾ける



●水の残りが
少なくなります。

重ならないようにする



重なると洗いが
悪くなったり、噴射で食
器が触れ合う音がしたり
する場合があります。

洗う前の準備

きれいに落ちないもの

焦げ付き、こびり付きはスポンジ等で、こすり落としておく。
※手洗い用洗剤を使用した場合は、食器に洗剤が残らないようにきれいに洗い流してください。

- 汚れが落ちない場合があります。
こびり付いた茶渋・口紅(種類によります)
食物の色素などの色が付いたプラスチック食器

取り除くもの

- つまようじ、魚の骨などの固いものや七味、ゴマ、ふりかけなどの細かい残さい(再付着の原因)などはあらかじめ取り除いておく。
- 油の固まりや魚の皮などは再付着し、悪臭の原因になるので取り除いておく。

洗えないもの

⚠ 注意

強化ガラス製のものを入れない
(粉々になって飛び散り、ケガのおそれ)

飛ばされやすい軽いものを入れない

- プラスチックのスプーンやふた
- 発泡スチロール容器
- ふきん・スポンジ
- ほ乳瓶の乳首(故障・破損・異音の原因)

包丁を入れない

(落下や刃でケガのおそれ)

熱に弱いもの

耐熱90℃未満のプラスチック食器
※ソフト洗いは、耐熱温度60℃以下のプラスチック食器
(耐熱表示のないものも含む)

変色しやすいもの

- 銀製・洋銀製食器など
- アルミ製・鋼製のなべや食器
- 木(竹・籐)製食器
- 漆塗り食器・重箱・金箔入りの食器・上絵付けの食器(はがれの原因)
- クリスタルガラス(白くもる)

割れやすいもの

- 傷のついたガラス食器
- ひびの入った食器
- ひび割れ模様の食器
- 木製の柄の付いた鍋類

その他

- びん・徳利などの食器
(錆びるおそれ)
- フッ素加工のフライパンなどで表面に傷や
はがれがあるもの
(コーティングはがれのおそれ)
- その他、洗えないものについては専用洗剤
の記載をご確認ください。

上記に記載のない食器については、販売メーカーか
食器の製造メーカーにお問い合わせください。

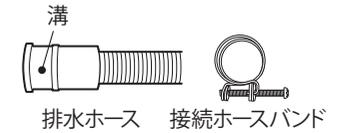
正しい使いかた

使用前の準備



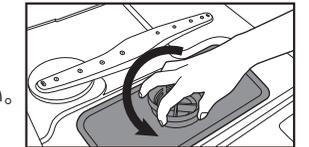
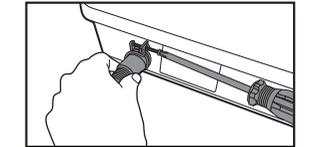
注意 本製品は、工場出荷時に動作テストを行い、その際の水が水タンクや本体に残っている場合があります。絞った布で拭いてください。

1. ドアを開けて、庫内の付属品を全て取り出す。
●まだ、差込みプラグをコンセントに差し込まないでください。
2. 排水ホースを本体に接続する。
●排水ホースを本体背面の排水口に接続し、接続ホースバンドを溝にハメてネジで締めて固定し、ホースの先端に付属する吸盤でシンクにしっかり固定する。



⚠ 注意 排水ホースを取り付ける際は、ホースの向きを上向きに設置しないでください。上向きに設置した場合、排水ホースが脱落したり、排水が逆流するおそれがあります。熱湯が排出されますので、排出場所や排出時に気をつけてください。

3. フィルターセットの取り外し方
●フィルターセットを反時計回りに回すと、取り外しができます。固定するときは、時計回りに回してカチッと固定するまで回してください。



使用方法

1. 差込みプラグをコンセントに差し込む。
⚠ 注意 アース線の取り付けをしないで使用すると感電のおそれがあります。
2. 食器を入れる。※最大 食器15点、小物6点
●食器についた食べ残しやひどい汚れは、あらかじめ軽く水で流すか、キッチンペーパー等で拭き取り、食器カゴに食器を配置する。
3. 食器洗い機専用洗剤を入れる。
●ドア内側の洗剤置きに入れてください。
※洗剤の量については、ご使用される洗剤メーカーのご説明内容にしたがってください。
4. 本体のドアを閉める。
●しっかりと閉まっていることを確認してください。



5. 水タンクに水を入れる。
●付属の給水トレーを給水口に取り付けて給水すると水のこぼれ等が抑制されます。
※勢いよく水を注ぐとこぼれる可能性があります。
- 動作するのに約5.2L給水が必要です。
差込みプラグをコンセントに差し込みした状態で給水してください。必要水量(約5.2L)に達すると電子音が鳴ります。水を入れ過ぎると、余分な水が庫内に流れますが、オーバーフローをし続けるため故障の原因となります。そのため、電子音が鳴ったら給水を止めてください。
6. 電源ボタンを長押しして、電源を入れる。